

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C	令和6年3月29日	
横断的な課題	信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進						
地域重点政策	信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進					松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	空港利用促進等PR事業				電話	0263-40-1902	
					E-mail	matsuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」を推進するため、アフターコロナにおける空港利用者の増加を図る。					
	現状と課題	1 信州まつもと空港利用者について 信州まつもと空港の利用者は、令和元年度の15万7千人以降、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、令和4年度には22万8千人と回復傾向にある。 アフターコロナにおける観光やビジネス需要に対応するため、既存路線の拡充や沖縄県との交流促進等により、「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」の実現に向けた取組が求められている。 2 空港利用促進に係るPRについて 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した空港利用者の増加を図るため、昨年度は、関西エリアにおいて、カフェレストラン「信州上高地あずさ珈琲」でのノベルティ配布やイベントに合わせたPR事業を実施した。 あわせて実施した抽選で県産の特産品を贈呈する空港利用アンケート調査では558人からの回答があった。 アンケート結果における、空港利用による来県意向は高いが未利用である割合が多いこと、松本-神戸線の運航に対する認知割合が低いこと等を踏まえ、引き続き、空港利用につながるPR事業を実施する必要がある。					
概要内容 (変更後の内容)	内容	1 空港利用PRノベルティグッズの作成 ・コルクコースター、カイロ ※検討により変更あり 2 空港利用PRノベルティグッズの配布及び空港利用に関するアンケート調査(抽選による景品キャンペーン)の実施(配布計画) ・令和5年度も引き続き上高地あずさ珈琲でのノベルティグッズの配布を引き続き行うとともに、協力店舗に関して、需要の高い層の利用する店舗の新規開拓を大阪事務所と共同で行う。 ・神戸線の利用拡大として、大阪事務所と協力し、関西地域で開かれるイベントでのノベルティの配布、関西地域の飲食店等での情報発信 ・松本-神戸線の認知度や空港利用に対する需要等を把握し、関西方面からの空港利用による誘客を図る取組の検討につなげるため、ノベルティ配布によるアンケート調査(抽選による景品キャンペーン)の実施(夏・冬期※R4は冬期のみ) [変更] 3 空港利用促進PRに係る就航先における協力企業等へのトップセールスの実施 ・令和5年度上半期の定期便の路線別利用率では、神戸便が61.1%と最も低い。R5年7~9月に実施したアンケート調査でも神戸便及び伊丹便の認知度は14%で、また、両便ともに就航していることを知らなかった割合は71%と、関西方面における本県への空路による路線認知や空港利用が低迷している状況にあるため、就航先(神戸)における利用促進PRに係る協力企業等へのトップセールスを行い、空港利用PRメディアの充実につなげる。 ・時期:令和6年3月4~5日 ・訪問先:上高地あずさ珈琲ほか					
	事業期間	令和5年5月 ~ 令和6年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	空港利用PRノベルティ作成	空港利用PRノベルティ作成費	197,120	コルクコースター 夏分:99,990円(300個)、冬分:97,130円(300個)			
	空港利用PRアンケート景品	空港利用PRアンケート景品代	36,495	信州アルプス牛 夏分:17,832円(3名分)、冬分:18,663円(3名分)			
	空港利用PRノベルティ発送、景品発送	空港利用PRノベルティ等郵送料	869	PR用品発送費			
	就航先でのトップセールス	就航先訪問旅費	78,298	局長分40,170円、企画振興課職員1名分38,128円			
	合計		312,782				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	信州まつもと空港利用者数(R4実績228,537人)		228,537人以上	259,436人	● 達成		
	アンケート回答者数(R4実績558人)		700人以上	962人	○ 一部達成 ○ 未達成		
事業実績・成果	【実績】 ・就航先(神戸空港)でのイベント時において、延600個のノベルティ配布によるPRを行った。 ・関西方面における就航認知度・利用意向アンケートにおいては、目標値を大幅に上回る962人の方に回答いただいた。 【成果】 ・空港利用者数は、観光機運及び空港需要の高まりにより、前年比30,899人増(利用率6.4%増)となった。 ・利用意向アンケート調査においては、神戸線、伊丹線の認知度を高めることができたとともに、空路による来県意向の高揚を図ることができた。						
今後の方向性	更なる空港振興を促進すべく、利用PR活動を発展的に継続していく。 就航先別の利用率が他航路に比して低率な神戸線について、就航先等での重点的なPR活動を行い、利用者増につなげていく。						